

ロケの雰囲気をもそのままに

「南極大陸」根室ロケセットを公開10/31

今年の2月から4月にかけて、根室で約70日間のロケが行われたドラマ「南極大陸」のロケセットの展示公開を記念したセレモニーが、道の駅スワン44ねむろで行われました。

スタジオ撮影で使用された昭和基地食堂のロケセットが組まれた前では、根室ロケプロジェクト実行委員会の小林会長と長谷川市長のあいさつに続き、この展



小道具の並びまで忠実に再現した道の駅の展示



基地の外観を再現した観光物産センターの展示

示イベントが今年の冬の観光の目玉となるようにとの期待を込め、関係者によるテープカットが行われ公開を祝いました。

セットには、撮影に使用した衣装や小道具のほか、ロケの様子を記録した写真が展示されるなど、撮影の雰囲気をも十分に味わうことができる内容になっています。展示は、道の駅のほか、市観光物産センターとまちなかサロン恋問でも、来年3月20日まで公開されます。実行委員会では、これを記念するスタンプラリーを実施し、多くのファンが来場することに期待を寄せています。

川端内閣府特命大臣北方領土視察

11/3

川端達夫内閣府特命大臣（沖縄及び北方対策）が、北方領土視察のため根室を訪れました。

川端大臣は、長谷川市長の案内で納沙布岬先端から北方領土を視察後、巡視船「さろま」に乗船し、洋上から水島などの島々を望みました。

今回は、初の試みとして元島民に絞った懇談会も行われ、元島民から後継者対策などの要望に大臣は真剣に耳を傾けていました。

その後の記者会見では、「返還運動を支える人たちに支える施策を立てることが私の仕事」と話し、これから最大限の努力をしていきたいとの決意が示されました。



市政への関心を高めよう

10/28

市民の皆さんに市政に対する理解を深めてもらうことを目的とした施設見学会「市政ウォッチングねむろ」が開催され、市営施設5カ所の見学に、市民17人が参加しました。

今年度市が設定する見学の最後となるこのコースには、新病院建設の見学も盛り込まれ、参加者は工事の概要と免震装置の構造についての説明を受けた後、実際に現場に足を運ぶと担当者に多くの質問が寄せられていました。

新消防庁舎の見学では、庁舎内の見学と合わせ消火訓練も行われ、また、海星小中学校では学校給食の試食も体験するなど、改めて市が行う事業への関心を高めていました。

東日本大震災を教訓に

11/9

9月に台風の影響で延期となっていた「根室市総合防災訓練」に、30機関約千人が参加し、花咲港東埠頭を中心に実施されました。

訓練は、根室半島南東沖を震源とする地震が発生し、根室市で震度6弱を観測。高さ3mの津波を想定し、漂流者捜索救助や倒壊家屋救出など、11項目の訓練が行われました。

東日本大震災を受けて津波被害が懸念される花咲港、落石、歯舞の3つの地区では、住民参加による初の避難訓練が実施され、約百人が指定避難場所へ避難し、近日導入予定の非常用食料を使った炊き出し訓練などを行いました。

